



ふようだより



「あきらめなくて よかった」

園長 足立 祐子

今年の夏は温暖化のせいなのか、オリンピックの熱気も一因となっていたのか、とびきり暑かった様に感じました。パリのオリンピック・パラリンピックも様々な感動を与えてくれましたね。

私は、今年のオリンピックを観戦していて、個人の努力もさることながら、「力を合わせることの素晴らしさ」を実感しました。コーチ、チームメイト、家族…。メダリストの方々が皆、口をそろえて「自分一人ではメダルはもらえなかった。」と言っていたことが印象的でした。目標に向けて努力を続けて成果を出す背景には、「良い指導者」「良い仲間」と「支える家族」があるということです。「みんながいたから頑張れた！」ということに尽きますね。

そして、何度も語られた言葉は、「あきらめなくて よかった」負けそうなとき、窮地に立った時にあきらめていたらこの結果にはならなかったという場面を幾度も見ました。これはアスリートのみならず、すべての人たちに向けた貴重なメッセージですね。頑張りたいと思います。

オリンピックのそのあとで…

オリンピックで日本がメダルをとった種目は、その後競技人口が増えるそうです。子供たちの中に、「私もやってみたい」「僕にも出来そう」というはっきりとした目標ができるのでしょうか。幼稚園では、オリンピックの年は、ごっこ遊びの中での再現の姿がたくさん見られます。体力向上に向けて、良いきっかけとなるのではないのでしょうか。幼児期はいろいろな動きを自ら繰り返していくことが、バランスよく運動能力を発達させていくことにつながります。「今日はサッカー選手！でも、明日は、バレーボール選手なんだ」「ほんとは体操選手なんだけど、プールに行ってトレーニングで泳いでくることね」などと、なりきって動くことを楽しむ姿が見られることでしょう。10月には運動会もあります。「たくさん動く、9月」にしたいと思います。

いよいよ2学期が始まります！

よく、休み明けは「夏休み中に成長が止まったり、後退したりしているのでは…」と心配される保護者の方の声を耳にします。しかしそんなことはありません。一時的に生活のペースが乱れたり、出来ていたことをやりたがらなかつたりすることはあります。でも、始めればまた自分で出来るようになります。それよりもはるかに、夏休み中に家庭で経験したことで成長していることがたくさんあるのです。幼稚園では、子供たち一人一人の成長を感じ取り、それを他の友達との関わりのきっかけにしたり、学級集団の力に生かしたりしながら、「みんなで力を合わせたからできた！」という体験が出来るよう、2学期の保育活動を進めます。保護者の皆様、どうぞ「支える家族」として子供たちを応援し、幼稚園と共に「よい仲間」作りにご協力いただきたいと思います。幼稚園では、「良い指導者」を目指して、職員の資質向上に向けて頑張っ参ります。2学期も、よろしくお願いたします。

